決算審査特別委員会

（9月18日～21日）主な質疑

委員長　関　忠夫

総務課

Q 湯沢町の一人当たり所得金額が県内の他市町村に比べ突出しているのは、人口のわりに事業所数が多いからで間違い無いか。

A 言われるとおりです。

Q 町職員の給与は22年に比べどうだったのか。

A 一人あたりの給与は22年度546万円、23年度535万円で10万円ほど下がっている。

地域整備課

Q 三俣振興対策で要望項目が48設定されていたがどの位着手されているのか。

A 完了済は4項目、着手し実施中のものが11項目、未着手33項目のうち10項目については今後実施していく予定。

Q 橋梁長寿命化修繕計画は今年度設計に入っているが、どの位の事業費が想定されるのか。

A 修繕しなければならない箇所がかなり多く、財政担当課と相談し年間400～500万円ずつ修繕にかけていくことになった。

議会事務局

Q 来年度から議員共済会への共済費はなくなるのか。

A 年金を受領している元議員が徐々に減るので、町負担分も減るが、続いていく。

健康福祉課

Q 住民健診の受診率はどの位か。

A 人間ドックと合わせて50％程度となっている。

Q 保険料普通徴収率85・6％となっているが、滞納が増えて介護保険が利用できないということはあるか。

A 滞納した方には、その期間に応じて給付制限が発生する。通常介護認定を受けた方は費用の1割負担だが、給付制限を受けた方は3割負担になるので注意喚起の文書を送っている。

教育課

Q 教育委員会の議事録を公開していただきたい。

A 公開できない部分もあるが教育委員会の意見をいただき、後退しない形で取り組みたい。

Q 地域と学校のつながりと、教育の方向性を伺いたい。

A 地域との関わりは、顔が見えるような取り組みをしたい。また積極的な情報公開を行い、現場では保、小、中の壁を取り払ったうえでの交流と接続を大切にしたいと考えている。

湯沢町公民館

Q 公民館と民俗資料館を25年度から指定管理者制度に移行するという話はどこまで進んでいるのか。

A 公民館については1年遅らせたいと考えている。民俗資料館については予定通り25年度から導入したいと思っている。

税務課

Q 23年度町税収入が42億円だった。長期財政計画では5年後の想定は35億5千万円位だが。

A 28年度は34億円位になると思う。

雪国館

会計管理者兼町民課

Q 住基ネットワークシステムは、住民基本台帳の活用実績が少ない事からも必要性に疑問を感じるが。

A 住基カードの作成他、基本の住民票を全国どこでも取得できる広域住民票が発行可能となるし、その他公的認証システムとも連携している。

Q 衛生組合が解散したが、支障は出てないか。

A 一部事業は町が引き続き要綱を作って実施している。主な事業だった不法投棄のパトロールについては、環境指導員を25名に増員した。

Q 墓地使用権利金はどこも同じ金額か。管理料は場所によって違うのか。

A 使用権利金は1区画40万円で同一だ。管理料は区画により違う。